

渡良瀬遊水地が土木学会選奨土木遺産に認定されました

渡良瀬遊水地は、土木学会から「河川の増水時に横溢する洪水を一時的に貯留するわが国最大級の治水施設で、建設と環境の両立を具現化した歴史的な土木文化遺産」として**令和4年度土木学会選奨土木遺産に認定**されました（令和4年9月）。また、認定に伴い記念したイベントが開催され、多くの方々に渡良瀬遊水地について学びと理解を深めていただきました（令和4年11月）。

【2022 とちぎエクスカースョン】

実施日：令和4年11月12日（土）

「2022 とちぎエクスカースョン」として、土木学会関東支部栃木会主催の「建設と環境の融和・渡良瀬遊水地と足利地域の近代化の足跡を訪ねる旅」が開催され、約30名の方々が越流堤などを見学し、渡良瀬遊水地の機能や成り立ち等について理解を深めました。



【土木学会選奨土木遺産認定書授与式】

実施日：令和4年11月24日（木）

土木学会選奨土木遺産認定書授与式が、栃木県総合文化センターにて開催されました。

認定式では、認定を記念し認定書・銘板・記念パネルが贈呈されました。



【近代化遺産の保存と活用を考える講演会】

実施日：令和4年11月26日（土）

足利の近代化遺産を考える会主催の「近代化遺産の保存と活用を考える講演会」が助戸公民館ホールにて開催され、「渡良瀬遊水地に係わる最近の取り組み」と題し利根川上流河川事務所調査課長が、最近の活動内容等について講演しました。

